「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 6 月 9 日

事業名称		文化施設管理費[文化施設管理事業]						
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	事業番号 9	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	生涯学習		課	郷土博物館	係	課長名	高田匡章	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	1 - 4		
【施策名】 市民文化の振興					総合計画書 (ページ)	41		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市民			人口(令和3年4月1日現在)				
	→							
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
	当市にゆかりの日本画家・吉岡堅二の作品に触れ、芸術・文化への関心と理解を高める。			旧吉岡家住宅公開時の来場者数				
	→							
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	旧吉岡家住宅の公開 吉岡堅二関連グッズの作成と頒布 建物の修繕と日常的な管理 吉岡堅二現有物調査ほか			旧吉岡堅二住宅の春の公開は、新型コロナウイルスの影響で中止となった。秋の公開のみ、コロナ対策を行いながら実施した。日常的な管理では樹木の伐採、落ち葉処理などを行った。主屋他1件を修繕料を用いて修繕した。 → 吉岡堅二現有物調査は、新型コロナウイルスの影響により、回数・調査員を制限して47回行った。				
	→							
		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294			
成果指標	②の数値	人	845	530	494			
目 標	②の目標値	人	1,152	1,200	1,100	1,100		
	目標値設定の考え方 新型コロナウイルス感染症対策に努めながら2回開催予定。550人×2回							
活動指標	③の数値	日	8	3	3			
3 経費	事業費(実績)		円	4,643,789	1,624,840	1,474,025		
	財源	一般財源	円	4,615,889	1,624,840	1,474,025		
		特定財源(国・都・他)	円	27,900				
		(うち受益者負担)	円					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5		
		所要人数(再任用)	人					
	職員人件費(再任用以外)	円	4,155,000	4,190,000	4,125,000			
	職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費		円	8,798,789	5,814,840	5,599,025			
4 環境変化等	(1) 開始年度		H5 年度					
	(2) 環境の変化 平成5年度から、日本画家・吉岡堅二の芸術作品を身近に感じ、芸術文化への監視を高めるために、郷土美術館の公開を行っている。平成29年5月には、国の登録有形文化財に登録された。今後、年間をとおして公開していくためには、調査・基本設計・実施設計・工事等の手順が必要となる。 吉岡堅二関連グッズとして作成した一筆箋が、前年度に続き3年度も在庫僅少となり増刷した。							

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
人件費(再任用職員以外)
年間単価は、8,250,000円
時間単価は、4,200円
で計算してください。
【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)

事業名称	文化施設管理費[文化施設管理事業]			
担当部署・課長名	生涯学習	課	郷土博物館	係 課長名 高田匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 貴重な文化財として保存してほしい。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：③公開の企画段階からの参画 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 施設整備についての方向性			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 国の登録有形文化財としての保存・管理・活用			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 旧吉岡家住宅の公開 各種修繕			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 国の登録有形文化財としての保存・管理・活用			
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 市民文化の振興 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 新型コロナウイルス感染症対策をしながらの公開のため、好評であった文化財ガイドも積極的には行わず、セルフガイドシートを配るなど工夫を凝らしながらの公開がしばらくは続くかもしれない。 調査委託などを主要事業調査に載せていく必要がある。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 公開については、文化財ボランティアの協力を得ながら実施していきたい。 現物資料については、引き続き行っていく。			